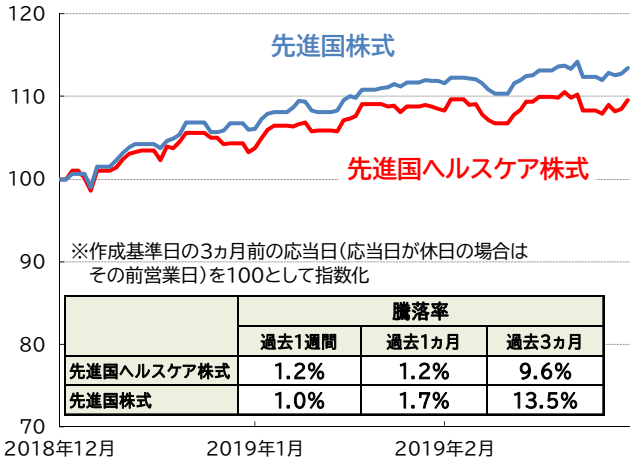


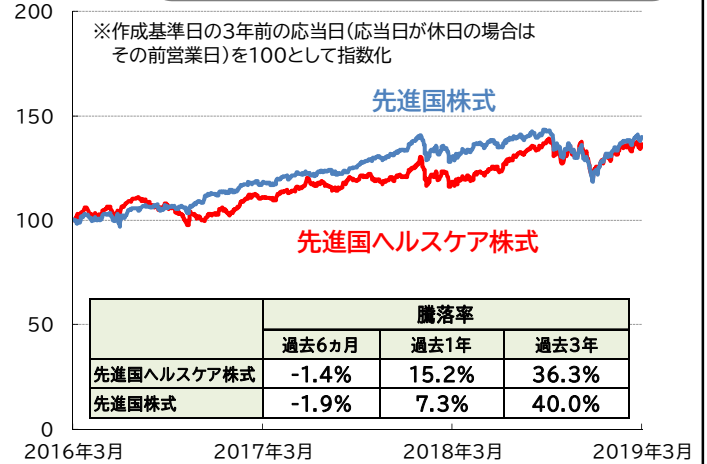
ヘルスケア・バイオ株式マーケット関連情報

ヘルスケア・バイオ株式マーケット情報

株価の推移と騰落率(過去3ヵ月)



株価の推移と騰落率(過去3年)



先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)

銘柄名	騰落率
第一三共	16.8%
ウエルファ・ヘルス・プランス*	11.5%
アルタイム・ファーマシューティカルス*	10.6%
バイオイン	9.1%
フレックス	7.6%

(出所) Bloomberg

各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)

銘柄名	先進国ヘルスケア株式	先進国ヘルスケア株式	エネルギー	素材	資本財	消費財	生活必需品	金融	情報技術	コミュニケーションサービス	公益
第一三共	9.9	18.0	6.8	4.2	10.6	9.9	8.6	9.0	11.5	12.1	6.2
ウエルファ・ヘルス・プランス*	15.7	16.9	15.9	14.0	15.4	16.2	19.2	10.8	19.7	16.2	17.2
アルタイム・ファーマシューティカルス*	13.1	13.7	12.5	12.3	13.2	13.3	16.6	9.3	15.6	13.3	15.3

■マーケット・コメント

先週は、先進国株式、先進国ヘルスケア株式は共に上昇しました。

- 先進国株式は、木曜日までは一進一退の動きとなったものの、29日の金曜日に米中通商協議の進展期待が高まったことなどから上昇しました。セクター別では、資本財・サービスなどが上昇しました。
- 先進国ヘルスケア株式も先進国株式同様に上昇しました。セクター別では、ライフサイエンス・ツール/サービスなどが上昇しました。

■ヘルスケア・バイオ関連トピック「第一三共が新しいがん治療薬で英アストラゼネカと提携」

第一三共は29日、新しいがん治療薬として期待されている「DS-8201」について、英アストラゼネカと開発・販売について提携することを発表しました。これを受け、第一三共は一時金などで最大69億ドル(約7,600億円)を受け取る見込みであるほか、日本を除く全世界での利益と費用は両社で折半することになり、海外での売り上げ増加が期待できることなどから、同社の株価はストップ高となり15.9%上昇しました。「DS-8201」は抗体薬物複合体(ADC)と呼ばれる、抗体と薬物(低分子医薬)が結合している薬の種類で、がん細胞に抗体がくっつき、がん細胞内に抗がん剤を直接運ぶことができるほか、周りのがん細胞を殺傷する効果も期待できます。ADCは低分子医薬とバイオ医薬それぞれにおいて高い技術力を必要としますが、殺細胞性の高い薬物を使うことができたり、高用量で投与できる可能性が期待されています。

(出所)各種報道を基に三菱UFJ国際投信作成

「株価の推移と騰落率」先進国ヘルスケア株式:MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス、先進国株式:MSCI ワールド・インデックスはいずれもトータルリターン(現地通貨ベース)。また、作成基準日のそれぞれ1週間前、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の応当日(応当日が休日の場合はその前日)と比較しています。「先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)」MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスの構成銘柄のうち、作成基準日と作成基準日の1週間前応当日(応当日が休日の場合はその前日)が比較可能な銘柄の騰落率上位5銘柄を集計。「各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)」MSCI ワールド・インデックス及びMSCI ワールド・業種別・インデックスの1株当たり利益(EPS)を使用。予想値はBloombergのものを使用。※PER(倍):株価収益率。※1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想:作成基準日の前年の1株当たり利益(EPS)に対する現在の会計年度の3期先の予想EPSの伸び率を三菱UFJ国際投信が年率換算。※3期先予想PER(倍):現在の会計年度の3期先の予想EPSと作成基準日の株価を基に三菱UFJ国際投信が算出。

本資料で使用している指数について

- 先進国株式=MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。
- 先進国ヘルスケア株式=MSCI ワールド ヘルスケア インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国の株式のうちヘルスケアセクターに分類された銘柄で構成されています。各指数に対する著作権およびその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。